

第147回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

当座預金	売上	ソフトウェア	有価証券
仮払法人税等	仮払消費税	貯蔵品	子会社株式
修繕費	減価償却累計額	リース資産	前払費用
租税公課	未払法人税等	未収入金	受取手形
支払手数料	建設仮勘定	建物	機械装置
ソフトウェア仮勘定	保険料	未払金	普通預金
クレジット売掛金	売掛金	現金	仕入
仕入割戻	固定資産除却損	リース債務	仮受消費税
減価償却費	支払利息	買掛金	売上割戻

1. 機械の増設工事（工事代金 ¥ 3,000,000 は3回分割で銀行振込により支払済み）が完成し、各固定資産勘定等の適切な勘定に振り替え処理を行った。工事の明細は、機械装置 ¥ 2,500,000、修繕費 ¥ 500,000 であった。さらに、増設工事にともない使用を中止した旧機械の一部（取得価額：¥ 1,000,000、減価償却累計額：¥ 800,000、記帳方法：直接法）の除却処理をあわせて行った。なお、旧機械の処分価値は ¥ 50,000 と見積もられた。
2. 海外の取引先から、商品 10,000 ドルの代金を2か月後に支払う条件で輸入した。輸入時の為替相場は1ドル ¥ 100 であったが、50,000 ドルを2か月後に1ドル ¥ 105 で購入する為替予約が輸入の前に結ばれていたため、この為替予約により振当処理を行うこととした。
3. 1週間前に商品 ¥ 100,000 をクレジット払いの条件で販売し、信販会社へのクレジット手数料（商品代金の4%）も販売時に計上していたが、この商品が顧客から返品されてきたためこの取引の取消処理を行った。なお、消費税の税率は8%とし、税込方式で処理するが、クレジット手数料には消費税は課税されない。
4. リース会社と機械のリース契約（リース料：月額 ¥ 100,000、リース資産の見積現金購入価額：¥ 5,400,000、リース期間：5年）を締結し、機械が納品され、同時に第1回のリース料 ¥ 100,000 を小切手を振り出して支払った。このリース取引は、ファイナンス・リース取引であったため、利子抜き法により処理することとした。
5. 外部に開発を依頼していた社内利用目的のソフトウェア（開発費用 ¥ 1,500,000 は6回分割で銀行振込により支払済み）が完成し使用を開始したため、ソフトウェア勘定に振り替えた。なお、開発費用 ¥ 1,500,000 の中には、使用開始後にかかるシステム関係の保守費用 ¥ 200,000 が含まれていることが判明したため、適切に処理することとした。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	機械装置	2,500,000	建設仮勘定	3,000,000
	修繕費	500,000		
	貯蔵品	50,000	機械装置	200,000
	固定資産除却損	150,000		
2	仕入	1,050,000	買掛金	1,050,000
3	売上	108,000	クレジット売掛金	104,000
			支払手数料	4,000
4	リース資産	5,400,000	リース債務	5,310,000
	支払利息	10,000	当座預金	100,000
別解	リース資産	5,400,000	リース債務	5,400,000
	リース債務	90,000	当座預金	100,000
	支払利息	10,000		
5	ソフトウェア	1,300,000	ソフトウェア仮勘定	1,500,000
	前払費用	200,000		